ひかりのこ

2024年度　**2月号**

日本キリスト教団
名古屋新生教会　子どもの礼拝（CS）
名古屋市西区天神山３－７　TEL052-531-1820
ホームページ：　名古屋新生教会　検索

2025年、早くも１ヶ月が過ぎました。今年はさまざまな「周年の年」とも言われています。昭和100年、戦後80年、内閣制度発足から140年、日韓国交正常化60周年、日航ジャンボ機墜落事故から40年、阪神淡路大震災から30年、地下鉄サリン事件から30年、愛地球博から20年、JR福知山線脱線事故から20年、他にも、アメリカのディズニーランド（カリフォルニア）開園70周年、マイクロソフト設立から50年・Windows発売開始40周年、スーパーマリオブラザーズ発売40周、Amazon.com開設から30年、YouTube開設から20年などなど…。大人のみなさんからすると「もう、そんなに年月が経ったのか」と感じるかもしれませんし、子どものみなさんからすると「そんな昔だったの?!」と思うかもしれません。2025年、はたしてどんなできごとがあるでしょうか。

今月の礼拝　単元17: 士師の時代から王国へ

📖…お話　♪…奏楽

月日	週　題	聖書箇所	ティーンズ礼拝（小4～中高生）9:00 ～ 9:30	プレイ・タイム（小学生／中高生）9:35 ～ 9:55	こどもれいはい（幼児～小3）10:00 ～ 10:20
２月２日	**ギデオン**	士師記 6-7 章	📖 武岡　基 ♪ 武岡路実		📖 武岡路実 ♪ 安達いづみ
２月９日	**ルツ**	ルツ記 1-4 章	📖 武岡路実 ♪ 安達いづみ		📖 武岡　基 ♪ 武岡路実
２月16日	**預言者サムエル**	サムエル記上 3 章	📖 安達正樹牧師 ♪ 堤　砂里奈		📖 安達正樹牧師 ♪ 堤　砂里奈
２月23日	**最初の王サウル**	サムエル記上 8-10 章	📖 堤　砂里奈 ♪ 武岡路実		📖 安達いづみ ♪ 武岡路実

子どもの礼拝（ＣＳ）クリスマス礼拝・祝会　12月15日（日）午後

金城学院高等学校キャラバン隊のみなさんと共にクリスマスの礼拝を守りました。
クリスマス礼拝の後には人形劇や手遊びをしていただき、子どもから大人まで、みんなで楽しいクリスマスの祝会を過ごしました。

今月の聖句

主がいかに偉大なことをあなたたちに示されたかを悟りなさい。

（サムエル上12:24）

今月のさんびか♫

こどもさんびか　１０６（どんどこどんどこ）

子どもの礼拝では、先月までは「イエスさまの歩み」として、イエスさまに出会った人について学びました。２月は旧約聖書に登場する預言者や信仰者から、神さまを信じることの大切さ、神さまに依り頼むことの大切さについて学びます。私たちもまた神さまを信じること、神さまに依り頼むことを大切にしていきましょう。

今月のさんびか「どんどこどんどこ」は、これまでにも礼拝で歌ったことがある賛美歌ですので、みなさんも一度は歌ったことがあるのではないでしょうか。

作詞・作曲は高橋 潮（うしお）さん（本名は猿田長春 1930-2001）で、日本聖公会の信徒でした。1966年から1995年まで立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊の第３代聖歌隊長として約30年間奉職しました。また『改正祈祷書聖餐式　やさしく歌える やさしくひける 口語のミサ曲』（1989）の作曲者でもあります。

この「どんどこどんどこ」は、新しいスタイルの賛美歌を作る試みをした『キミとぼくの77曲』（1971 日本聖公会青年の歌委員会 編）の中の一曲で同歌集から転載され、『こどもさんびか２』（1983）に収録されて現在の『こどもさんびか改訂版』に引き継がれています。

「どんどこどんどこ」というフレーズが基調となって、歌うにつれて１人が２人に、２人が４人に、４人が８人にと友だちが増えていく、とても楽しい賛美歌です。みなさんも礼拝に友だちが多く集まると嬉しい気持ちになりますよね。前半部分は人数の違いを除けば同じ歌詞なので、歌詞を見なくても歌いながら行進したり、友だちを探しに行ったりできます。後半部分は、１節が「きみもわらって　ぼくもわらって」、２節が「きみも歌って　ぼくも歌って」、３節が「みんななかよく　かたをくんで」、そしてみんなで「神さまの子どもになって」とつながっていきます。最後は再び「どんどこどんどこ　歩いてゆけば」となって、ある種のエンドレスの進行形の歌となっています。

発表された1971年当時、賛美歌としては何とも斬新なリズムと構成を持った歌だったと思われるのですが、今日でもそのリズミカルな斬新さは色あせておらず、民族音楽的なリズムや16分音符などでリズムを刻むと、子どもたちはすぐに乗って歌うことができます。歌うにつれて友だちの輪が広がっていく様子はとても気持ちよく、このまま世界中の子どもたちと友だちになれたらいいなと思える賛美歌です。

※高橋 潮…銅版画家にも同姓同名の方がいらっしゃいますが、別人物です。

おたんじょうび おめでとう　2月生まれのお友だち

節分には“恵方巻”?!

キリスト教とはまったく関係ありませんが、今年の節分は２月２日（日）です。暦の上では翌日の２月３日が「立春」、春が来ます。今でこそ節分には、古代中国の陰陽五行説に基づいく「恵方」（2025年は西南西だそうです）に向かって太巻き寿司を食べる“風習”が定着しています。スーパーやコンビニ、寿司チェーン店、はたまたデパートでは高価なもの（今年の干支へびにちなんで「ヘビー級」と称して13種の具材で1本9590円！のもの）まで販売していて、ある種の競争にもなっています。過去には各店舗毎の販売ノルマ問題や売れ残り廃棄による食品ロス問題にまで発展したこともあります。

「恵方巻」の起源は一般的には大阪発祥の風習と言われているものの諸説あり、古くは戦国時代の武将（豊臣秀吉や徳川家康に仕えた尾張藩出身の堀尾吉晴といわれる）が節分の日に巻き寿司を丸かぶりして出陣したら戦に勝ったことに端を発するとする説、幕末から明治時代初頭に、大阪・船場で商売繁盛、無病息災、家内円満を願ったのが始まりとする説など、定かな説は不明です。全国的な風習となったのは、小僧寿しチェーンが1980年代半ばより「縁起巻」の名称で全国展開を図ったものの、名称を商標登録したこともあり一般的なものとはならず、ブームも起こりませんでした。その後、セブン・イレブンが丸かぶり寿司に目を付け、「恵方巻」として展開したことで本格的な普及の先駆けとなりました。1989年に広島市内で販売を開始、翌年から販売エリアを広げ、1995年から西日本エリアに拡大、1998年に全国展開したことで急速に普及したといわれています。そう考えると、現代版恵方巻のルーツは広島とも言えます。食べ方は一般的なものとしては「恵方に向かって願い事を思い浮かべながら黙って食べると願い事が叶う」と言われますが、「笑いながら食べる」や「目をとじて食べる」など、“作法”にもいろいろあります。名称も「恵方巻」の他に、「招福巻」「丸かぶり寿司」「幸運巻ずし」などとも呼ばれます。もちろん小僧寿しチェーンだけは今でも「縁起巻」と言っています。ここ数年では「寿司」を超えて、ロールケーキやトルティーヤなどを“太巻き”に見立てたり、鬼まんじゅうや他のお菓子もブームに乗っかったりしていますね。